

「自動運転車両安全対策ワーキング・グループ（WG）」の設置について

1. 背景

- ・ 2020 年目途の高度な自動運転（レベル 3 以上）の実現のためには、安全基準や交通ルール等の多岐にわたる交通関連法規について、従来の「ドライバーによる運転」を前提とした制度から「システムによる運転」も想定した制度へ見直すことが必要である。
- ・ このため、「未来投資戦略 2017」（平成 29 年 6 月、閣議決定）及び「官民 ITS 構想・ロードマップ 2017」（平成 29 年 5 月、IT 総合戦略本部・官民データ活用推進戦略会議決定）において、本年度中を目途に、高度な自動運転の実現に向けた政府全体の制度整備の方針（大綱）をとりまとめることとされている（大綱を踏まえた各省庁における具体的な制度設計は来年度中を想定）。
- ・ こうした動きを踏まえ、国土交通省自動車局としても、自動車製作者等における安全な車両開発を促進するため、高度な自動運転車両の安全性に関する考え方について検討・整理を行う必要がある。

2. 検討内容

車両安全対策検討会の下に、「自動運転車両安全対策ワーキング・グループ（WG）」を設置し、高度な自動運転車両（レベル 3 以上）の安全性に関する考え方について整理し、ガイドラインとしてとりまとめる。

3. WGメンバー案

別紙のとおり

4. 検討スケジュール

- ・ 平成 30 年 1 月を目途に第 1 回WGを開催
- ・ 関係者ヒアリングや原案審議など、複数回開催し、平成 30 年の夏頃にガイドラインをとりまとめ

5. その他

自動車製作者等の車両開発の状況等を踏まえて検討する必要があるとあり、機微な情報が含まれることから、会議資料及び審議内容は原則非公開とする。

自動運転車両安全対策WGメンバー（案）

<メンバー> ◎座長

- ◎鎌田 実 （東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授）
稲垣 敏之 （筑波大学理事・副学長）
須田 義大 （東京大学生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター長・教授）
河合 英直 （自動車技術総合機構交通安全環境研究所 自動車研究部長）
清水 和夫 （モータージャーナリスト）
森山 みずほ （モータージャーナリスト）
鳥塚 俊洋 （株式会社JAFメディアワークス IT メディア部長）

<オブザーバー>

- 一般社団法人日本自動車工業会
日本自動車輸入組合
内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室
警察庁交通局交通企画課
経済産業省製造産業局自動車課
国土交通省道路局高度道路交通システム（ITS）推進室

<事務局>

- 国土交通省自動車局技術政策課